

九州の航空機産業2018

増加する旅客機需要で今後も市場の拡大が予想される航空機産業。1機当たりの部品点数は約300万点で裾野が広く高付加価値の産業だ。モデルチェンジまでのスパンが長い長期の受注も見込める。九州では基幹産業である自動車や半導体と続く成長産業として期待されている。ただ、中堅・中小企業が航空機産業に参入するには設備投資や認証取得など大きな障壁が立ちわたる。本座談会では九州で航空機ビジネスに参入している2社と基幹産業化を後押しする九州経済産業局がクラスター構想や今後の展開を語り合った。

部品点数300万点

裾野広い成長産業

九州経済産業局は国産機が中心だった。長崎県産業内の航空機産業の現状を振興財団から誘致の話がどう分析していますか。あり、米ボーイング787。航空機生産額は7の専用工場を建てたい。2011年の約1.1兆円から4年で1.5倍に。当時、事業構造として半導体製造装置が材料やチタン合金など先端部品かつ素材技術の結集であり、高付加価値な産業だ。国内自動車産業と比べると市場規模は約30分の1にとどまるが、長崎工場だが、新卒者の見方を考えると成長の余地がある産業といえる。国は「航空産業ビジョン」を取りまとめ、20年に2兆円の売り上げを目指す。また、国産ジェット旅客機「MRJ」の完成やエンジン、整備品の受注を増やし基幹産業としての発展へ取り組んでいる。



ウラノ副社長 小林 正樹氏

小林氏 始めた種育ち



熊防メタル社長 前田 博明氏

認証取得、品質管理に注力

前田氏

出席者

ウラノ 副社長 小林 正樹氏

熊防メタル 社長 前田 博明氏

九州経済産業局 地域経済部長 最上 賢治氏

日刊工業新聞社 西部支社長 嶋崎 直

用語

【Nadcap (ナドキャップ)】米ボーイングや欧州エアバスなど、航空機・エンジンメーカーが参画する審査機関「PRI」が定めた認証システム。機械加工や熱処理、非破壊検査といった特殊工程の宇宙・航空産業における国際認証規格になっている。企業は認証取得によって品質向上や新規ビジネス機会の創出が期待できる。

【航空産業ビジョン】政府が2015年に策定した航空産業の振興指針。完成機や整備品など各分野の国産比率を高め、売り上げ目標として20年に2兆円、30年に3兆円を掲げる。

ウラノは1950年、埼玉県本庄市で「浦野鉄工所」として創業した。半導体製造装置部品や火力発電のタービン部品などを製造する。航空機向けにはチタンやインコネルといった難削材加工に特化。徹底した品質管理で航空機の機体部品やエンジン部品を手がける。2017年7月期の売上高は約38億円。

会社概要

ウラノは1950年、埼玉県本庄市で「浦野鉄工所」として創業した。半導体製造装置部品や火力発電のタービン部品などを製造する。航空機向けにはチタンやインコネルといった難削材加工に特化。徹底した品質管理で航空機の機体部品やエンジン部品を手がける。2017年7月期の売上高は約38億円。

これらの設備を生かし半導体や液晶製造装置、自動車部品など幅広い産業分野の表面処理を行っている。10月に航空宇宙産業の品質管理規格「JIS Q9100」の認証を受ける最後のチャンスと

前田 立案してから1年半、時間も人も割いた。参入のきっかけは試作品の依頼を受けたことだった。認証取得は航空機産業の現状を見て参入する最後のチャンスと

前田 既存の設備や技術で対応できたので大きな負担はなかった。だが、さらなるレベルに達するには人材確保や設備投資も積極的に行う必要がある。航空機専門ではないが、18年にも約1億円を投じて多目的ラインを新設予定だ。人手不足には自動化やシステム構築で対応する。

最上 従来の航空機産業は大手企業と協力企業間で加工・組み立てが行われてきた。だが、コスト削減に対応するため複数の工程を社の中小企業が一括して受注し管理する「一括生産方式」が求められている。同方式は設備投資や認証の問題から単独の1社で全てを整備することは難しい。そこでウラノを中心とするクラスターのプロジェクトが開始した。軌道に乗せ成功に導きたい。

会社概要

熊防メタルは1933年、熊本市で「前田めっき工業」として創業した。半導体製造装置部品や液晶装置部品などを対象に超大型アルマイト処理や硬質アルマイト処理ができる国内最大級の表面処理ラインを持つ。独自の表面処理技術を開発するほか、ラインにIoT技術を導入している。2017年9月期の売り上げは約12億円。

前田 人材確保は本場が大変だ。長崎工場を構える長崎県東彼杵町は従業員の紹介で入社することが多い。従業員が親戚や友人などに紹介できる会社であり続けたい。一方で、人口減少は避けられない。そこで機械加工などの工程にロボットを導入している。最上さんがおっしゃる通りに省人化や自動化に取り組む生産性を高めるためだ。ただ、製品保証の検査など工程によっては実務経験5年以上といった制約がある。航空機に特化した人材を長い目で育成しなければならぬ。

私たちがこれからも切削加工技術の牽引企業として、よりよい明日を切り拓くために「ものづくり」で貢献してまいります。

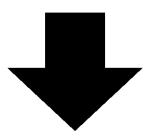
技術は人なり
株式会社ウラノは1950年の創業以来、「良いものづくりは人づくりから」を信念に、ものづくりを通して成長し続ける仲間と最先端技術に挑戦してまいりました。共存における自立を重んじ、心技を磨くことは、生きる姿勢そのものです。

そんな私達が磨きあげた技術は、航空機、半導体製造装置、医療装置等の部品に形を変えて生きています。2018年は、スマート社会の加速を受け、半導体製造装置および航空機部品の大幅な増産が見込まれ、お客さまの大きな期待を私たちは感じています。本年はその期待に応えるべく、事業拡大のため、埼玉本社工場の群馬県伊勢崎市への移転に向けて動き出します。



社員募集中

お問い合わせは各工場採用担当まで!



埼玉工場 〒369-0306 埼玉県玉上郡上里町大字七本木3563 TEL:0495-33-2511 FAX:0495-33-2514
長崎工場 〒859-3922 長崎県東彼杵郡東彼杵町八反田郷57-27 TEL:0957-49-3600 FAX:0957-47-0300
http://kk-urano.jp facebookもしています!